

2月14日 バレンタインデーに始動！！
「P.S. i LOVE YOU」 PROJECT
～iPS 細胞技術をあたりまえの医療に～



ポイント

- iHeart Japan 株式会社を含む企業・19社 18グループと公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団（以下 CiRA_F）とが協同
- iPS 細胞技術への理解やあたりまえの医療にしていくための取り組みを発信し、多くの人から応援していただく機運を高めることを目指す
- キャンペーン特設サイトでは参加企業と CiRA_F が動画を公開し、現在の取り組みや iPS 細胞の実用化にける思いを語る

参画企業 19社 18グループ一覧（以下、アルファベット順）

CiRA_F の iPS 細胞ストックを使用している、もしくは共同研究を行っている企業が参画しています。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ・旭化成株式会社 | ・株式会社メガカリオン |
| ・キヤノン株式会社 | ・オリヅルセラピューティクス株式会社 |
| ・キヤノンメディカルシステムズ株式会社 | ・株式会社レイメイ |
| ・株式会社セルージュン | ・リバーセル株式会社 |
| ・クオリプス株式会社 | ・リジェネフロ株式会社 |
| ・大日本住友製薬株式会社 | ・積水化学工業株式会社 |
| ・株式会社ヘリオス | ・武田薬品工業株式会社 |
| ・日立造船株式会社 | ・サイアス株式会社 |
| ・iHeart Japan 株式会社 | ・株式会社ビジョンケア |
| ・株式会社 iXgene | |

1. 概要

iHeart Japan 株式会社を含む上記の参画企業と CiRA_F は、iPS 細胞技術を使った再生医療の実現を目指す私たちを応援していただける方々の輪を広げるため、2月14日（月）から新キャンペーン「P.S. i LOVE YOU（ピー エス アイラブ ユー） PROJECT」を始動します。

CiRA_F の山中伸弥理事長が 2007 年にヒト iPS 細胞の樹立を論文で発表してから、15 年。

多くの研究者の努力により、iPS 細胞を使った新しい治療法の研究開発が進展し、実用化への道をけん引する企業も出てきています。

細胞製品の原料となる iPS 細胞ストックや iPS 細胞ストックを拡大培養したセルバンクを製造している CiRA_F では、iPS 細胞ストック事業を非営利機関や企業との連携や情報共有を前提としたオープンイノベーション型の事業として進めるこ

とにより、知識・技術集積拠点となることを目指しています。また、iPS 細胞を使った治療が広く社会や医療に浸透することを目指し、品質、時間、コストの問題を解決する次世代 iPS 細胞の開発に取り組んでいます。

この目的を達成し、iPS 細胞を活用した再生医療を当たり前の医療とするためには、大学、CiRA_F、企業の皆様が一体となって諸課題に取り組んでいく必要があると考えています。

そこで、iHeart Japan 株式会社を含む参画企業と CiRA_F が共に、この現状について一般の方にもご理解、関心を持っていただき、多くの人から応援していただく機運を高めることを目指して、バレンタインデーにキャンペーンを始動し、自分たちの想いを発信していくこととなりました。

今後も、より多くの方にご理解いただける広報キャンペーンを継続して行っていきます。
応援をよろしく申し上げます。

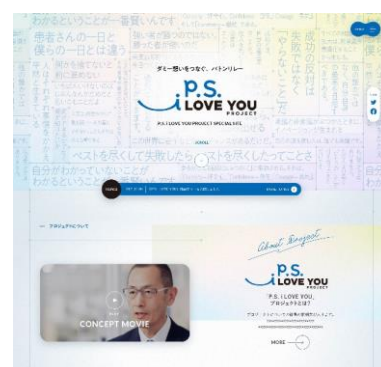
2. 本プロジェクトのサイト公開

このキャンペーンでは、プロジェクト特設ウェブサイトを開設しました。19 社の企業と CiRA_F が、それぞれの想いや取り組みについて語る動画を見ることができます。

URL : <https://www.cira-foundation.or.jp/ps-i-love-you/>

iHeart Japan 株式会社も、上記サイト内で、事業にける想いを語っています。

URL : <https://www.cira-foundation.or.jp/ps-i-love-you/message/message09.html>



3. 大阪・関西万博 「Team EXPO2025」への登録

2025 年に行われる大阪・関西万博のプロジェクトの一つである「Team EXPO2025」にも本日登録を完了しました。
今後も継続的に関連イベントを実施する予定です。

4. 公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団 理事長・山中伸弥 コメント

一つの研究成果が一般的な医療として実際に患者さんに届くには、20 年、30 年といった期間が必要と言われています。私がラボの仲間と共にヒト iPS 細胞の樹立に成功してから 15 年、国からのご支援のほか、多くの研究者の努力や患者さんのご協力により、iPS 細胞を使った技術で新しい治療法の開発が進んでいます。いくつかのプロジェクトでは、安全性と有効性の評価を行うまでに至っています。私は今年度末に、京都大学 iPS 細胞研究所の所長を退任し、iPS 細胞に関する基礎研究を更に進める一方で、当財団理事長を継続し、iPS 細胞の再生医療への応用に貢献していきたいと考えています。

今後、iPS 細胞を使った医療の実用化に向けて、企業の皆様とともに様々な課題を乗り越えていく必要があります。iPS 細胞技術をあたりまえの医療にしていくため、社会の多くの皆様に、その意義をご理解いただき、多くの皆様に応援をしていただけましたら幸いです。

本件に関する代表お問い合わせ先

iHeart Japan 株式会社 事業部 広報担当
info@iheartjapan.jp

(「Team EXPO2025」への登録、その他、CiRA_F に関すること)

公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F)

広報室 中上依美里 (なかうえ えみり)

TEL: 075-761-3357

Email: contact*cira-foundation.or.jp

お手数ですがメール送信の際 * を@に変えてください。
